

Easy Pack Ad for BHT-900 クイックリファレンス ～活用編～

はじめに

Easy Pack Ad for BHT-900 クイックリファレンスは、BHT-900にプリインストールされているEasy Pack Ad for BHT-900の簡易マニュアルとなっています。
この活用編では機器とソフトの基本的な使い方を簡単にご紹介します。
製品の詳細につきましては、別途ユーザーズマニュアルをご確認ください。

1. Easy Pack Ad for BHT-900 デフォルト業務の紹介



“Easy Pack Ad for BHT-900”には出荷時にあらかじめ3つのデフォルト業務がプリインストールされています。
プリインストールされている業務については以下をご参照ください。

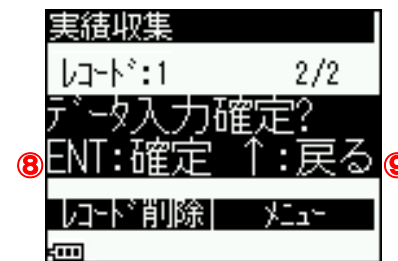
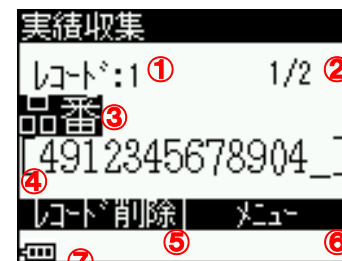
<デフォルト業務の紹介>

- ・実績収集 … 商品などのバーコードを読み、その商品の数量をキー入力してデータを収集する業務です。
簡単な梱卸や検品作業を想定しており、収集したデータはExcel等で開けるファイル形式(CSV)で保存されます。
- ・1:1照合 … 照合元となるバーコードを読み、続けて照合をしたいバーコードを読ませることで、二つのバーコードが同一であるかを確認できる業務です。
1:1照合では、1回の照合ごとに照合元を変更します。
なお、1:1照合ではデータ収集は行いません。
- ・1:n照合 … 照合元となるバーコードを読み、続けて照合をしたいバーコードを読ませることで、二つのバーコードが同一であるかを確認できる業務です。
1:n照合では、1:1照合と異なり照合元は固定されますので一つの照合元に対して複数の照合したいバーコードがある場合に使用します。
なお、1:n照合ではデータ収集は行いません。

2.“実績収集”の使い方

2-1.実績収集画面の解説

実績収集業務



- ① … 現在までに収集したレコード数を表示します。
レコードとは複数のデータ入力(品番、数量など)をまとめたものです。
- ② … データ入力数を表示します。分母がデータ入力の総数を表し分子が現在のデータ入力位置(番号)を表しています。
- ③ … データの項目名です。
- ④ … 現在入力されたデータの情報を表示します。(最大99桁)
表示外の内容はF7、F8キーでカーソルを動かして確認することができます。
- ⑤ … 直前に確定されたレコードを削除することができます。
但し、直前に確定されたレコードがない場合、この表示はされません。
- ⑥ … 業務メニューに戻ります。
- ⑦ … バッテリー残量を表示します。
- ⑧ … ENTキーを押して収集したデータを確定し、レコードとしてBHTに保存します。
- ⑨ … F5キーを押すことでレコード登録前のデータを確認・修正することができます。

補足



ヘルプ画面を各業務において用意しています。
作業画面において“F1キー”を押すことで、その業務におけるキー操作一覧が表示されます。

Easy Pack Ad for BHT-900 クイックリファレンス ～活用編～

2.“実績収集”の使い方

2-2.実績を収集する

実績収集業務



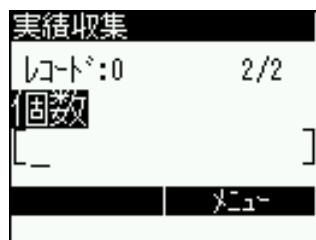
左図の画面で、BHT本体の“左右トリガ”または、“SCANキー”を押し、バーコードを読み取ります。

初期設定では読み取り可能なバーコードの種類は“全コード”“1～99桁”となっており、数字キーでの入力も可能です。

読み取り可能なバーコードの種類は以下の通りです。

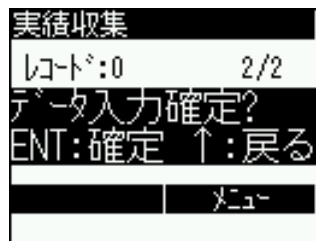
確認

POS (JAN)、ITF、STF、CODABAR (NW-7)、CODE39、CODE93、CODE128、RSS (GS1-Databar)です。



左図の画面で、BHT本体の“数字キー”を入力し、最後に“ENTキー”を押します。

初期設定では入力桁数は“1～99桁”となっており、バーコードでの入力も可能です。



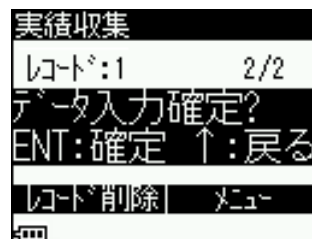
左図の画面で、BHT本体の“ENTキー”を入力し、データ入力を確定します。

読み取ったバーコードや入力個数が間違っていて、修正や削除をしたい場合はここで“F5キー”を用いて該当のデータを表示して、入力を修正します。

この作業を繰り返し、実績データを収集します。

2-3.実績データを編集する

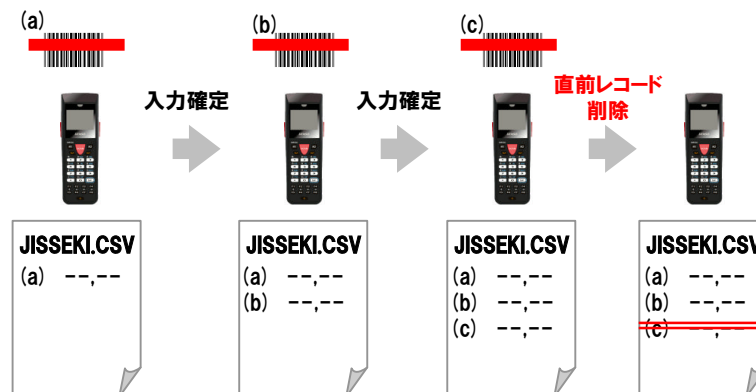
実績収集業務



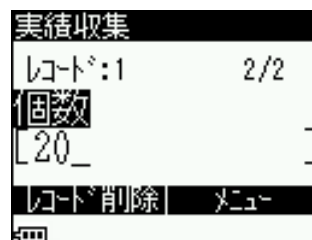
左図の様に、画面左下に“レコード削除”と表示されている時にBHT本体の“M1キー”を押すと直前に確定したレコードを削除します。

補足

レコード削除のイメージは以下のようになります。



直前のレコードである(c)が削除されます。



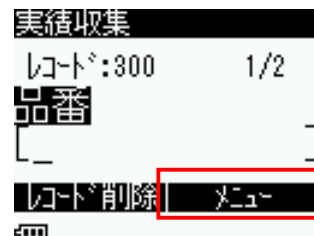
データ入力確定確認画面(上記の画面)で“F5”キーを押すと左図のように入力データの下に「_」カーソルが表示されます。

カーソルは“F7キー”“F8キー”で移動でき“BS/Cキー”で削除や、“数字キー”での編集が可能です。編集が完了したら“ENTキー”を押し、入力を確定します。

Easy Pack Ad for BHT-900 クイックリファレンス ～活用編～

2.“実績収集”の使い方

2-4.実績データを転送する

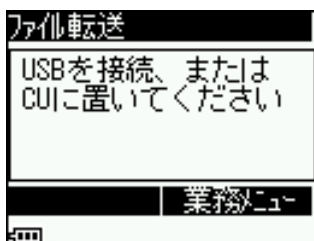


実績収集業務

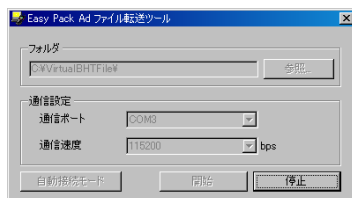
実績データを収集したファイルをパソコンに転送します。転送するには業務メニューを開く必要があります。左図のように右下に“メニュー”と表示があるときに“M2キー”を押して“業務メニュー”を開きます。



“業務メニュー”で“M1キー”を押してファイル転送のモードにします。



画面の表示に従い、CUにBHTを置きます。



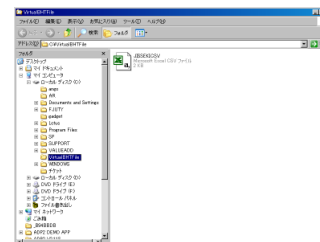
BHTと接続している、CUと接続しているパソコンで“Easy Pack Ad 転送ツール”が起動し“開始状態”になっていることを確認します。

確認

通信がうまくいかない場合は、ケーブル類が接続されていることを確認したうえで、ファイル転送ツールを“自動接続モード”で再接続を試みてください。



BHTがパソコンを認識すると左図のような画面が表示されます。



同時に、パソコンの画面上に左図のようなエクスプローラが表示されます。

“実績収集”の初期設定では、収集ファイルは“CSV形式”で保存されています。



実績ファイルをパソコン上の任意の場所にドラッグ&ドロップしてファイルを移動します。この時、ドラッグ&ドロップしたファイルはBHTの中から削除されます。



データの移動が終了したら、“メニュー(M2キー)”を押し、データ転送を終了してください。

注意

実績の収集ファイルを転送中、パソコンとBHTをつなぐケーブルを外す、またはCUからBHTを取り出すことはしないでください。データが転送される前に実績データが消失する可能性があります。BHTにデータを残し、さらに実績データを同一ファイルに追加したい場合は該当のファイルをドラッグ&ドロップで移動するのではなく、右クリックからコピーを選択してください。この場合、BHT本体にファイルが残りますので、これまで収集したデータの続きから実績を収集することができます。

注意

パソコンとBHTをUSBケーブルで直接接続する機能は、Ver1.00では対応しておりません。ご迷惑をお掛けしますがバージョンアップをお待ちください。

Easy Pack Ad for BHT-900 クイックリファレンス ～活用編～

3.“1:1照合”の使い方

3-1.“1:1照合”画面の解説

1:1照合業務



- ① … 照合元のデータが表示されます。
- ② … “業務メニュー”へ戻ります。
- ③ … ①の照合元データと照合が一致した場合に表示されます。
- ④ … ①の照合元データと照合が不一致だった場合に表示されます。

3-2.データを照合する



左図の画面で、BHT本体の“左右トリガ”または、“SCANキー”を押し、マスターデータ(照合元)として、バーコードを読み取ります。

読み取り可能なバーコードの種類は“全コード”“99桁”となっております。

補足

読み取り可能なバーコードの種類は以下の通りです。
POS (JAN)、ITF、STF、CODABAR (NW-7)、CODE39、
CODE93、CODE128、RSS (GS1-Databar)です。



次に、照合したい(照合先)のバーコードをBHT本体の“左右トリガ”または、“SCANキー”を押して読み取ります。



読み取ったバーコードの内容がマスターデータ(照合元)と一致した為、画面に“照合OK”という画面が表示されます。



読み取ったバーコードの内容がマスターデータ(照合元)と照合が不一致だった為、画面に“照合NG”という画面が表示されエラー音が出ます。

エラー音は“M2キー”を押すことで止まります。



マスターデータ(照合元)のデータ入力を繰り返します。

⚠ 注意

照合内容が不一致だった場合は、エラーであることを確実に分かるように簡単にエラー音が止まらないように設計されています。

照合結果のデータはBHT本体には保存・蓄積はされません。

補足

“F1”キーを押すことで、キー操作のヘルプ画面を表示できます。

Easy Pack Ad for BHT-900 クイックリファレンス ～活用編～

4.“1:n照合”の使い方

4-1.“1:n照合”画面の解説

1:n照合業務



- ① … 照合元のデータが表示されます。
- ② … ①の照合元データの入力をクリアすることができます。
- ③ … “業務メニュー”へ戻ります。
- ④ … ①の照合元データと照合が一致した場合に表示されます。
- ⑤ … ①の照合元データと照合が不一致だった場合に表示されます。

4-2.データを照合する



左図の画面で、BHT本体の“左右トリガ”または、“SCANキー”を押し、マスターデータ(照合元)として、バーコードを読み取ります。

読み取り可能なバーコードの種類は“全コード”“1～99桁”となっております。

補足

読み取り可能なバーコードの種類は以下の通りです。
POS (JAN)、ITF、STF、CODABAR (NW-7)、CODE39、CODE93、CODE128、RSS (GS1-Databar)です。



次に、照合したい(照合先)のバーコードをBHT本体の“左右トリガ”または、“SCANキー”を押して読み取ります。



読み取ったバーコードの内容がマスターデータ(照合元)と一致した為、画面に“照合OK”という画面が表示されます。



読み取ったバーコードの内容がマスターデータ(照合元)と不一致だった為、画面に“照合NG”という画面が表示されエラー音が出ます。

エラー音は“M2キー”を押すことで止まります。



マスターデータ(照合元)はそのまま照合したいデータ(照合先)の入力を繰り返します。

⚠ 注意

照合内容が不一致だった場合は、エラーであることを確実に分かるように簡単にエラー音が止まらないように設計されています。

照合結果のデータはBHT本体には保存・蓄積はされません。

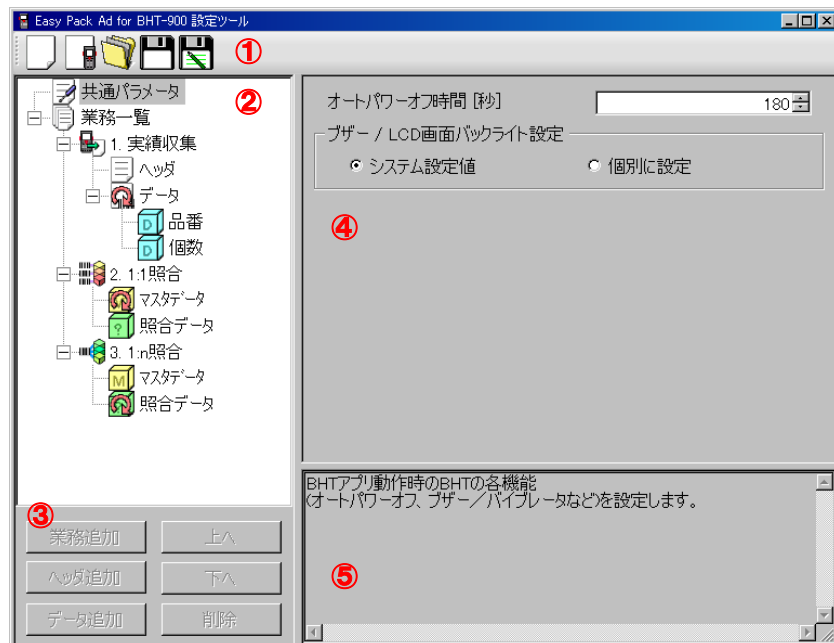
補足

“F1”キーを押すことで、キー操作のヘルプ画面を表示できます。

Easy Pack Ad for BHT-900 クイックリファレンス ～活用編～

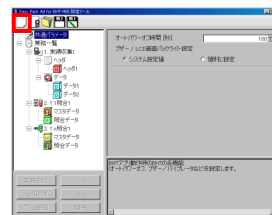
5.“設定ツール”の使い方

5-1.設定ツール画面の解説



- ① … “ツールバー”です。作業の初めに行いたい業務を選択します。
 - … “新規作成”新しい業務を作成します。
 - … “デフォルト業務”プリインストールされている業務と同じものを作成します。デフォルトの業務を削除してしまった場合や内容を編集したい場合はこちらを使用します。
 - … 保存した設定ツールのファイルを開くことができます。
 - … “上書き保存”作成・編集したデータを上書き保存します。
 - … “名前をつけて保存”作成・編集したデータに名前をつけて保存します。
- ② … “業務ツリー”です。現在、編集・作成している業務一覧が表示されます。
- ③ … 業務の追加／削除、項目の追加／削除を行うボタンです
- ④ … “業務ツリー”(②)で選択した項目において、編集できる内容が表示されます。
- ⑤ … ④で表示されている設定項目を選択すると、説明が表示されます。

5-2.新規で業務ファイルを作成する



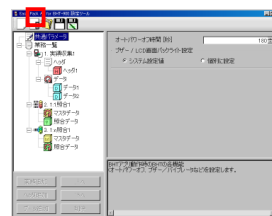
新規で業務を作成するときは、ツールバーの“新規作成”ボタンを押すと左図のようになります。

補足

設定ツールでは

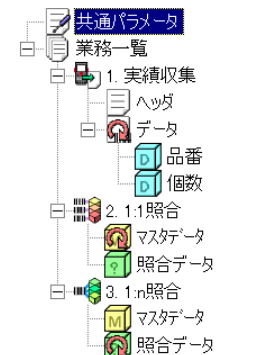
- ・業務作成(実績収集、1:1照合、1:n照合)
 - ・業務名、実績ファイル名の変更
 - ・実績ファイルの形式変更(CSVまたはTXT)
 - ・ヘッダ項目(1度きりの入力項目)の追加・編集
 - ・データ項目(繰り返しの入力項目)の追加・編集
 - ・読み取り設定(バーコード指定、桁数指定)
 - ・入力方法設定(トリガ、キー)
 - ・プザー/バイプレータの設定
 - ・LCD画面設定
- 等の内容を行うことができます。

5-3.デフォルトのアプリデータを作成したい、編集したい場合



ツールバーの“デフォルト業務”を選択するとBHTにあらかじめインストールされている業務メニューと同じものを呼び出せます。

選択すると、左図のような表示がされます。こちらも“新規業務”作成と同じく、新しい業務の追加や編集、読み取り設定等を行うことができます。

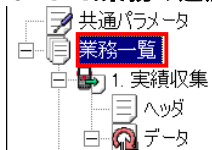


Easy Pack Ad for BHT-900 クイックリファレンス ～活用編～

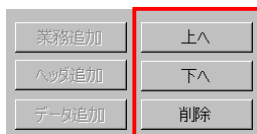
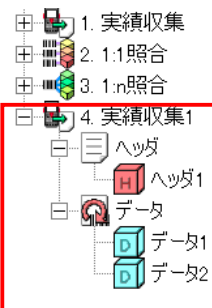
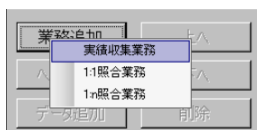
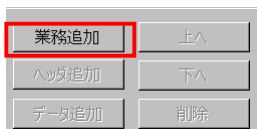
5.“設定ツール”の使い方

5-4.業務の追加と編集

5-4-1.業務の追加



業務ツリーの“業務一覧”をクリックすると左図のように業務ボタンで“業務追加”が行えます。



“業務追加”を選択すると“実績収集業務”“1:1照合業務”“1:n照合業務”を選択できますので、追加したい業務を選択します。新しい業務は現在入っている業務の後ろに追加されます。

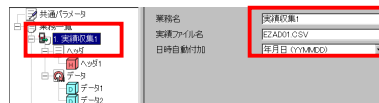
なお、業務は最大で10件作成することが可能で“Easy Pack Ad for BHT-900”の業務メニュー上での表示順は以下の通りとなっています。

- 業務番号1～3:1ページ目
- 業務版業4～6:2ページ目
- 業務番号7～9:3ページ目
- 業務番号0 :4ページ目

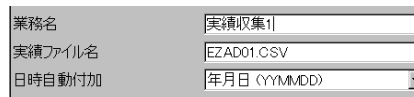
業務順を入れ替えたい場合は、変更したい業務をクリックし、“上へ”“下へ”ボタンを用いて変更します。また、業務を削除したい場合も同様に、削除したい業務を選択し、“削除”ボタンを選択します。

5-3-2.業務ファイルの編集

実績収集業務



業務名を変更する場合は、“業務一覧”の下にある業務をクリックすると“業務名”“実績ファイル名”“日時自動付加”の変更ができます。



<業務ファイルの編集について>

- ・業務名 … 全角7文字(半角14文字)以内で設定することができます。
- ・実績ファイル名 … BHTの中に保存されるファイル名と形式を設定することができます。ファイル名は半角英数字で8文字までとし、拡張子には“CSV”か“TXT”を指定してください。
- ・日時自動付加 … 実績を収集したレコードの先頭に自動で日時を付加することができます。

*“1:1照合業務”“1:n照合業務”では、実績ファイル名と日時自動付加を編集することはできません。

補足

- ・パソコンに取り込んだ実績ファイルは、以下の方法で開くことができます。
CSV形式 … Microsoft Excel®
TXT形式 … メモ帳
- ・CSV形式とTXT形式でのデータの違いは以下の通りです。
例)日付(YYYYMMDD)、担当者ID(5桁)、商品コード(13桁)、数量(5桁)とした場合。

<CSV形式>

1	A	B	C	D
1	日付	担当者ID	商品コード	数量
2	20100801	12345	4901234567890	10
3	20100801	12345	4901234567891	100
4	20100801	12345	4901234567892	1000
5	20100801	12345	4901234567893	10000
6	20100801	12345	4901234567894	10
7	20100801	12345	4901234567895	100
8	20100801	12345	4901234567896	1000
9	20100801	12345	4901234567897	10000
10	20100801	12345	4901234567898	10
11	20100801	12345	4901234567899	100

項目がセルごとに分かれて出力されます。(項目名は出力されません)

<TXT形式>

1	A	B	C	D
1	日付	担当者ID	商品コード	数量
2	"20100801"	"12345"	"4901234567890"	"10"
3	"20100801"	"12345"	"4901234567891"	"100"
4	"20100801"	"12345"	"4901234567892"	"1000"
5	"20100801"	"12345"	"4901234567893"	"10000"
6	"20100801"	"12345"	"4901234567894"	"10"
7	"20100801"	"12345"	"4901234567895"	"100"
8	"20100801"	"12345"	"4901234567896"	"1000"
9	"20100801"	"12345"	"4901234567897"	"10000"
10	"20100801"	"12345"	"4901234567898"	"10"
11	"20100801"	"12345"	"4901234567899"	"100"

項目が""で括られ、項目毎にカンマで区切られて出力されます。

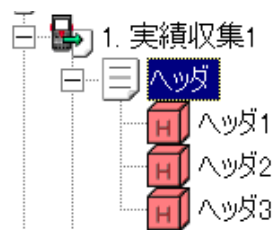
- *CSV形式のファイルをExcelで開いた場合、データが正しく表示されない場合があります。各列の書式設定を調整してください。なる場合があります。その際はExcelの表示設定を変更してください。
- *TXT形式をエディタで表示した場合、項目と項目の間は、最大入力桁数に合わせるように半角スペースが入ります。

Easy Pack Ad for BHT-900 クイックリファレンス ～活用編～

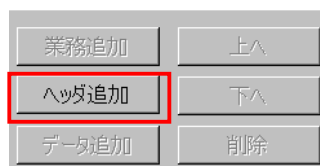
5.“設定ツール”の使い方

5-3-3.項目の追加

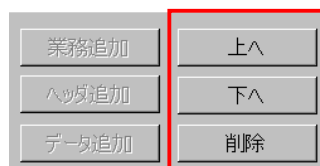
実績収集業務



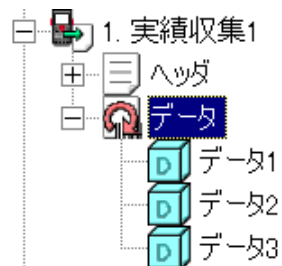
担当者IDの入力など業務開始時に一度入力すればすむ項目を追加したい場合はヘッダに登録します。ヘッダの追加は、左図のように、“ヘッダ”を選択した状態で“ヘッダ追加”ボタンをクリックしてください。最下段に“ヘッダ”項目が追加されます。



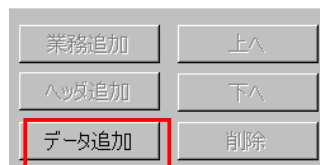
ヘッダはひとつの業務に対して、最大10件まで登録することが可能です。



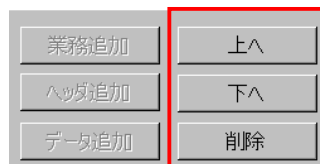
“ヘッダ”の移動や削除は左図の“上へ”“下へ”“削除”ボタンを使用して編集することができます。



繰り返し入力項目を追加したい場合はデータに登録します。データの追加は、左図のように、“データ”を選択した状態で“データ追加”ボタンをクリックしてください。最下段に“データ”項目が追加されます。



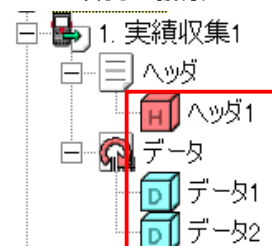
データはひとつの業務に対して、最大10件まで登録することが可能です。



“データ”の移動や削除は左図の“上へ”“下へ”“削除”ボタンを使用して編集することができます。

5-3-4.項目の編集

実績収集業務



一度きりの入力項目の“ヘッダ”や繰り返し入力項目の“データ”をクリックすると項目名の変更や読み取り制限の設定をすることができます。

項目名	ヘッダ1
入力手段	バーコード / キー
読み取りコード	全コード
重複登録	許可
入力最小桁数	1
入力最大桁数	99
バーコード読み取り詳細設定	

<項目の編集でできること>

- ・項目名 ... 項目名を全角8文字(半角16文字)まで入力することができます。
- ・入力手段 ... データの入力手段を選択できます。
バーコード:バーコードの読み取りで、データ入力します。
キー:キーでデータを入力します。
バーコード/キー:バーコード読み取りかキーでデータを入力します。
- ・読み取りコード ... 読み取りコードの種別を設定することができます。“全コード”では、全てのバーコードを読みますがコード種を1つに限定することも出来ます。
- ・重複登録 ... 収集結果の同一項目において、同じデータが入力されていないかをチェックすることができます。“禁止”にすると、同じデータは入力することができません。
- ・入力最小桁数 ... ここで設定した桁数から、データを入力することができます。
- ・入力最大桁数 ... ここで設定した桁数まで、データを入力することができます。

補足 “バーコード読み取り詳細設定”については別途取扱説明書をご確認ください。

Easy Pack Ad for BHT-900 クイックリファレンス ～活用編～

5.“設定ツール”の使い方

5-3-5.“1:1照合”“1:n照合”業務の編集

1:1照合業務 1:n照合業務

業務名	1:1照合1
マスターデータ名	マスターデータ

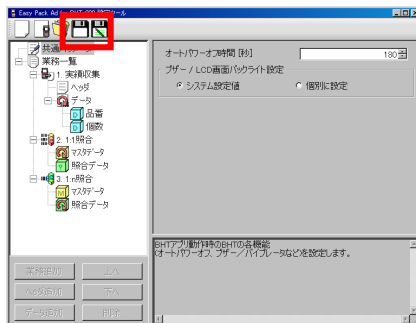
“1:1照合”“1:n照合”の業務をクリックすると“業務名”と“マスターデータ名”の編集が可能です。

<項目の編集でできること>

- ・業務名 … 業務名を全角7文字(半角14文字)まで入力することができます。
- ・マスターデータ名 … マスターデータ名を全角8文字(半角16文字)まで入力することができます。

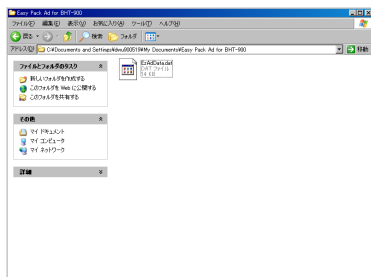
補足 “バーコード読み取り詳細設定”については別途取扱説明書をご確認ください。

5-4.業務ファイルの保存と反映方法

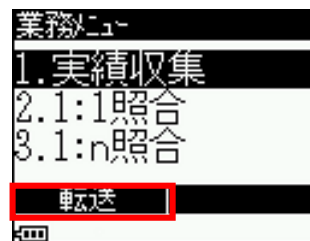


業務の編集が完了したら、データをパソコンに一度保存します。

左図のようにツールバーの保存アイコンをクリックするとデータを保存することができます。



保存の際には任意の場所に業務ファイルを保存します。



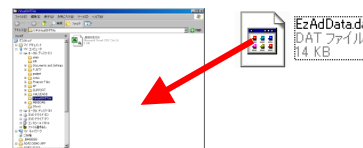
BHTの“業務メニュー”から“転送”を押してファイル転送モードにします。



CUに置いたら、自動でフォルダが開きます。

⚠ 注意

パソコンとBHTをUSBケーブルで直接接続する機能は、Ver1.00では対応しておりません。ご迷惑をお掛けしますがバージョンアップをお待ちください。



そのフォルダに保存した業務ファイルをドラッグ&ドロップし、データを転送します。BHTを再起動すれば、作成した業務ファイルのデータが反映されます。

⚠ 注意

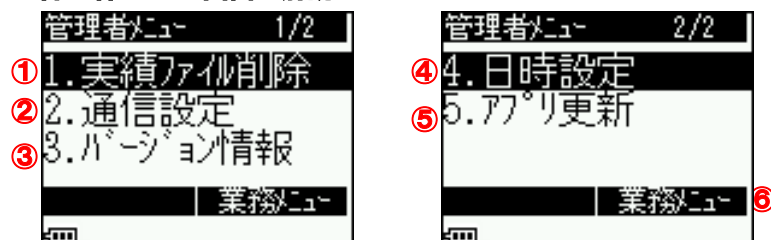
Easy Pack Ad for BHT-900 設定ツール
Easy Pack Ad for BHT-900で使用できる業務ファイル名は、「EzAdData.dat」です。
この業務ファイルを使用するには、ファイル名を「EzAdData.dat」に変更して使用してください。

業務ファイルの保存する際に名前を変更できますが編集した業務をBHTで使用する場合は必ずファイル名を“EzAdData.Data.dat”として転送してください。
他のファイル名にしてしまうと業務ファイルのデータが反映されません。

Easy Pack Ad for BHT-900 クイックリファレンス ～活用編～

6.“管理者メニュー”の使い方

6-1.管理者メニュー画面の解説

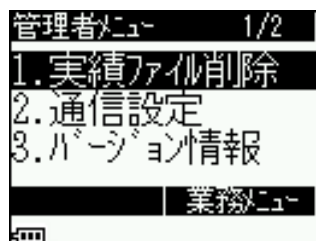


- ① … 実績収集業務で作成したデータファイルを削除します。
- ② … データ転送の速度を変更できます。
- ③ … 現在のアプリケーションバージョンを表示します。
- ④ … BHT本体の日時を設定できます。
- ⑤ … アプリの更新が合った場合に使用します。
- ⑥ … “業務メニュー”に戻ります。

6-2.管理者メニューを使う

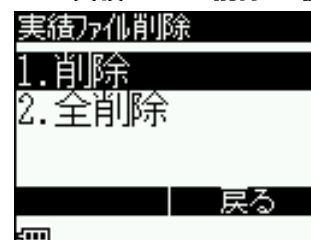


“業務メニュー”画面にてBHTの“SFキー”を押しながら“M2キー”を押して“管理者メニュー”を表示します。



管理者メニューでは、
 ・実績ファイルの削除
 ・通信設定
 ・バージョン情報
 ・日時設定
 ・アプリの更新
 を行うことができます。

6-3.“実績ファイル削除”を使う



“管理者メニュー”画面にて“実績ファイル削除”を選択すると左図の画面が表示されます。

- 削除 … BHT内にある実績ファイルを選択して削除します。
 全削除 … BHT内にある実績ファイルを全て削除します。

6-4.“通信設定”を使う

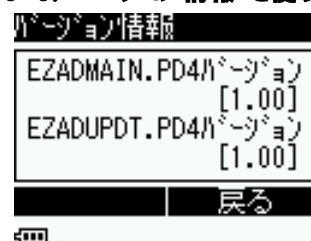


“管理者メニュー”画面にて“通信設定”を選択すると左図の画面が表示されます。

- 115200kbps … 標準設定の速度。
 460800kbps* … 標準設定より早い転送速度。
 データ量が多いファイルを転送することが多い場合はこちらを選択してください。

*CU-901ではご利用いただけません。

6-5.“バージョン情報”を使う



“管理者メニュー”画面にて“バージョン情報”を選択すると左図の画面が表示されます。

ここでは現在のアプリケーションのバージョンやBHTのシステム情報が表示されます。

6-6.“日時設定”を使う



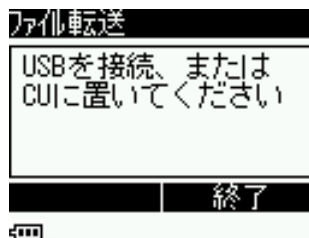
“管理者メニュー”画面にて“日時設定”を選択すると左図の画面が表示されます。

- 現在日時 … 上段の項目に現在の時間が表示されます。
 設定日時 … 下段の項目にこれから設定したい時間を“数字キー”を使って設定してください。

Easy Pack Ad for BHT-900 クイックリファレンス ～活用編～

6.“管理者メニュー”の使い方

6-7.“アプリ更新”を使う



“管理者メニュー”画面にて“アプリ更新”を選択すると左図の画面が表示されます。

7.Easy Pack Ad for BHT-900を使用する上での注意

・実績データの収集方法について

“CSV形式”で保存した場合はMicrosoft Excel®*等でファイルを開くことができます。

“TXT形式”で保存した場合はメモ帳等でファイルを開くことができます。

“CSV形式”のファイルをExcelで開いた場合、データは正しいが実数表示になる場合があります。その際はExcelの表示設定を変更してください。

TXT形式をエディタで表示した場合、項目と項目の間は、最大入力桁数に合わせるように半角スペースが入ります。

*Microsoft Excel、およびExcelはMicrosoft社の登録商標です。

・実績データの蓄積について

BHTで収集した実績データは指定したファイルに保存されます。

業務を中断してもBHT内から削除されない限りは指定したファイルの最後尾にデータが順次蓄積されていきます。

・Easy Pack Ad for BHT-900のファイル転送について

Easy Pack Ad for BHT-900のファイル転送ツールは専用ツールの為他のアプリケーションのデータを送受信することはできません。

他のアプリケーションのデータを送受信を行う場合には別途、“転送ユーティリティ”をご利用ください。

・本体設定について

Easy Pack Ad for BHT-900でのキー設定は固有の設定です。

他のアプリケーションや、システムメニューにて設定したキーの割り振りは反映されません。

・対応のCUについて

Easy Pack Ad for BHT-900ではLANタイプ(CU-911)には未対応です。

対応するCUはUSBタイプ(CU-921)かRS232Cタイプ(CU-901)のみです。

・業務ファイルのコピー

Easy Pack Ad for BHT-900 設定ツールで作成した業務ファイルはBHTとBHT間でコピーが可能です。

複数台のBHT-900を利用する場合はPCを使わずにBHT-900の赤外線同士を向かい合わせてファイルをコピーしてください。

但し、BHT-900以外の機種では使用することはできません。

詳細はBHT-900の取扱説明書を参照してください。

[自動認識製品の総合サイト]

DENSO WAVE ホームページ

デンソーウェーブ

検索

<http://www.denso-wave.com/adcd/>

- 事業紹介
- 製品情報
- 活用事例
- 各種コードの基礎知識
- お問い合わせ

[より具体的な製品情報がわかる無料会員サイト]

QBdirect

- 各製品に関する質問と回答集
- ダウンロード(取扱説明書、ソフトウェア)
- 技術的なお問い合わせ

QBdirect

検索

<http://www.qbdirect.net/>

[QRコードのすべてがわかる情報サイト]

QRcode.com

- QRコードとは
- 業界別活用事例
- よくあるご質問
- お問い合わせ

QRコードドットコム

検索

<http://www.qrcode.com/>

株式会社デンソーウェーブ

本社：東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館

カスタマーデスク



0120-585-271

受付時間 9:10~12:00 13:00~17:30
(土・日・祝日を除く)

- 携帯電話、PHSからはご利用いただけません。
- このクイックリファレンスの記載データは、2010年8月現在のもので、予告なく変更することがございます。